



【ご挨拶】 イランとアメリカの関係が悪化し、アメリカが2月末にイランを攻撃したことで戦争が始まってしまいました。その影響で原油の輸送が滞り、ガソリンなど石油製品が一気に値上がりしました。これでまた、物価高騰に拍車がかかりそうで、戦争なんて良いことが一つもありません。ロシアとウクライナの戦争も長引いているし、一番被害を被っているのは一般市民であり、大国による弱い者いじめもいじめる加減にして欲しい。さて、令和7年の年度末を迎え、来月から新年度となります。公民館長も3月末で2年間の任期が終了しますが、新館長の候補者は今のところ無しの状態のため再任の予定です。次期もよろしくお願い致します。

【池ヶ平、安泰寺に春かきた！】 町道池ヶ平線、県道257号線の分岐より池ヶ平までの約4kmの区間は、冬期は除雪しません。だから安泰寺は春まで冬ごもりしています。ようやく春めいて雪もかなり消えてきたので、今年は3月18日に除雪が入り、池ヶ平まで車で行くことができるようになりました。春分の日20日、数ヶ月ぶりに安泰寺を訪れました。途中の道沿いの日陰には雪が残り、倒木や落石もあって通行には十分な注意が必要です。昨年、屋根を葺き替えたばかりの本堂の前にはまだ多くの雪がありましたが、ウメやサザンカが咲き、春がそこまで来ています。出迎えて下さった中村住職もお元気で、今年は安泰寺がこの地に居を構えて50周年になるそうです。



安泰寺の本堂の前にはまだ多くの雪が残るが、ウメの花が咲きはじめていた（令和8年3月20日）

【久斗山の春を見つけよう！】
まだまだあちこちに雪が残っているけど、久斗山にも春が来ています。3月15日に開催した久斗山自然教室「早春の里山・早起き生き物をさがし」では20人の参加者があり、みんなで春探しをしました。今年度最後の行事になるので、一年間のふり返しをした後、長靴と防寒着を着て野外に出かけました。まずは大杉神社の石垣についている苔を観察。触るとふわふわしてて、虫めがねで見ると丸い目玉みたいな胞子嚢がいっぱい出ています。他に白い花火のような杓苺の花や、ササヅカササを見つけて、ついでに神社に今年一年の感謝を込めてお参りしました。今回のキーワードは「サソ」のつく花を見つけること。次に発見したのは小さな花が可愛いササヅカササでした。村の上の道をぐるっと散策し、ササヅカササもありましたが、まだ花は咲いていませんでした。配電箱の中のテトリウムの集団越冬やマアガヒの卵塊、カガクウの成虫など観察しました。これからまた久斗山の自然は賑やかになります。



スナゴケの胞子嚢

タマゴケの胞子嚢

オウレンの花

サンインネコノメソウの花

クロカワゲラの成虫

